

単元名：オリジナルストーリー全集をつくろう
「物語を書こう」

男子15名 女子14名 計29名

指導者 宮地 仁美

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年、「B 書くこと」の指導事項「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の「B 書くこと」の言語活動例(2)「ア 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること。」を基に、写真から想像を広げて、起承転結の構成で表現豊かにオリジナルストーリーを書く言語活動を位置付ける。

児童はこれまでに、物語を書くことについては、5年生で「不思議な世界へ出かけよう」に取り組んだ。ある人物が不思議な世界へ行って現実の世界へもどってくるという話の筋が設定されてはいるものを、構成メモを基に、場面の様子や人物の心情が伝わるように行動や会話を工夫して物語を書く学習をしてきている。本単元は、これまでの学習を生かして、1枚の写真から想像したことを基に物語を書く学習である。読み手をひきつける山場を考えた起承転結の構成で、想像した出来事や、風景、人物の気持ちなどを描写する表現を、これまでの読書経験や生活体験などで得た情景や自分自身の心情なども生かしながら工夫して書くことができると考える。

- 本学級の児童は、今年度の全国学力・学習状況調査において、登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える問題の通過率が87.8%であった。しかし、国語の勉強が好きだと答えた児童は52.4%、国語の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役立つと考えている児童は73%と低く、学習に対する意欲や意識に課題が見られた。

児童は、1学期に「ずい筆を書こう」で、随筆の特徴を理解し、身の回りの出来事や体験した出来事と、そこから感じたことや考えたことを整理して書く学習を行った。随筆を書く活動を通して、自分の内面と向き合い、自己を見つめ直し、新たな自分の発見につなげることができた。生活そのものが国語科の学習につながることを感じることもできた学習であった。

○課題を発見・解決する力

想像を広げて書くおもしろさに気づき、児童自らがオリジナルストーリーを書くことに興味をもつことができるようにしたい。そのために、導入時には、1枚の写真からイメージして書いた教師のオリジナルストーリーを読み、自分にも書けそうという気持ちを喚起させ、自分も書いてみたいと意欲をもたせる。また、そうして書きあげた個々のオリジナルストーリーを1冊の全集にまとめることを確認し、意欲の喚起を図る。

写真から浮かぶイメージを手がかりに物語の筋道、内容、表現などを工夫しながら想像した世界を、これまでの読書経験や生活体験を生かしながら起承転結の構成でオリジナルストーリーを書くことに興味をもつことができるようにしたい。

○深く考える力

本単元で育成したい思考の力は、想像したことが読み手に伝わるように、文章全体の構成を構造化して考える力や、人物の心情や情景などの表現の工夫を評価する力である。

文章全体の構成を考える際には、「プロット図」を用いて、主人公や登場人物の心情の変化を全体の流れの中で大きくとらえる。「プロット図」には、1枚の写真から想像してイメージマップに書いた付箋を用いて、オリジナルストーリーの場面の設定(起)、出来事の展開(承)、山場(転)、結末(結)の構成を考えさせる。構造化することでストーリー全体の流れを大きくとらえさせたい。

また、人物の心情や情景などを伝えるために、叙述の工夫を考えさせたい。心に残った表現を参考にしたり、擬人法や比喻、会話文を効果的に取り入れたりしながら、よりよい表現を工夫させたい。

下書きを評価する際には、「PIMシート」を用い、P（作品の構成や表現の工夫のよさ）、I（分かりにくい表現）、M（おもしろかったこと、楽しかったところ）を記入させる。協働的に評価し合うことで、構成や表現の工夫について学ばせたい。

○自己を理解する力

課題の設定において、1学期に学習した「ずい筆を書こう」の学びのモニタリングを想起させる。この学習で付けた力が基盤として、オリジナルストーリーの作品を書くための構成力や表現力が深まっているか考えさせる。また、この学習で付けた力をさらに伸ばしていくことを意識させる。

学習の計画を児童と共に立て、単元終了後のゴールの見通しをもたせる。ゴールにはオリジナルストーリーを書くことを通して随筆を書いた学習がどのように生かされ、どのような力が付けたいか、評価基準を児童と共に作成する。児童との共有を図ることで、自分をモニタリングしながら学習に取り組ませたい。振り返りの段階では、作品を読み合い、友達の発想や感じ方、表現の仕方の違いに気付かせ、相互評価を行う。学びのモニタリングの時間では、作品や友達からの評価やノートを基に、単元の初めに立てた「学びのモニタリング」の視点で、自らの学びや学び方を振り返る。そして、随筆の作品と比較しながら、構成の仕方や使う表現が豊かになっていることや自分のものの見方や考え方が深まっていることに気付かせたい。また、オリジナルストーリーを書くことの楽しさやおもしろさにも気付かせたい。

単元の目標について

- 1枚の写真を見て、経験したことや想像したことを基に、意欲的にオリジナルストーリーを書こうとする。 【関心・意欲・態度】
- 写真を基に想像したことを表現するために、文章全体の構成の効果を考えることができる。 【書くこと イ】
- 想像したことが読み手に伝わるように、場面の様子や自分の気持ちなど、表現を工夫してオリジナルストーリーを書くことができる。 【書くこと ウ】
- 擬人法や比喩、会話文、叙述などの表現の工夫に気付き、オリジナルストーリーの表現に用いることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（ケ）】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 写真から想像を広げて、起承転結の構成で表現豊かにオリジナルストーリーを書く		
1枚の写真を見て、経験したことや想像したことを基に、意欲的にオリジナルストーリーを書こうとしている。	写真をもとに想像したことを表現するために、文章全体の構成の効果を考えている。 想像したことが読み手に伝わるように、場面の様子や人物の気持ちなど、表現を工夫してオリジナルストーリーを書いている。	擬人法や比喩、会話文、叙述などの表現の工夫に気付き、オリジナルストーリーの表現に用いている。

指導と評価の計画

全 13 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定 (2) ○教師の作品を読み、オリジナルストーリーを書くことに意欲をもつ。 ・教師の書いたオリジナルストーリーを読み、おもしろさに気付く。	○			・オリジナルストーリーを読み、オリジナルストーリーを書くことに興味をもとうとしている。	行動観察 ノート
	2	○学習の見通しを立てる。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	○			・オリジナルストーリーを書くことに興味をもち、主体的に付けたい力について考えている。	発言 ノート
二	3	情報の収集 (4) ○物語の構成の特徴を理解する。 ・物語は、起承転結で構成されていることを昔話「ももたろう」で確認する。 ・既習の物語教材「海のいのち」の構成をとらえる。			○	・物語の構成を理解している。	発言 ノート
	4	○場面の様子や人物の気持ちを表すための表現の工夫について考える。 ・既習の物語作品で、人物マップをまとめたりすぐれた叙述や心情を表す表現の工夫を見付けたりする。(擬人法・比喩・会話など)			○	・既習の物語作品から、情景や心情を表す擬人法や比喩などの表現の工夫を見付けている。	発言 ノート
	5	○写真から想像を広げる。 ・7枚の写真から想像できることをイメージマップに書き、交流する。			○	・写真を見て想像したことをイメージマップに書いている。	ワークシート 行動観察 発言
	6	○オリジナルストーリーの設定を考える。 ・7枚の写真から1枚選び、書きたいオリジナルストーリーのテーマや場面の設定や出来事、登場人物の心情を考える。(イメージマップ)			○	・書きたい話の写真を1枚決めて、テーマや場面の設定、出来事や心情などのイメージを膨らませている。	ワークシート 行動観察
	7	整理・分析 (1) ○プロット図に整理する。(場面の設定、出来事の展開、山場、結末) ・想像を広げて考えた出来事や登場人物の心情を整理する。(プロット図) ・一文あらすじ(○○の～が、～と出会って、□□の～になる話。)を書く。 【本時】			○	・想像を広げて考えた事柄を整理しながら、プロット図にストーリーの設定や展開を整理している。	ワークシート 発言 行動観察

物語を読んで心に残った表現を集める

次	時	学習内容	評価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
二	8	まとめ・創造・表現（４） ○プロット図をもとに、表現を工夫して「場面の設定（起）」「出来事の展開（承）」の場面を書く。 ・文の書き出しやラストの一文を工夫しながら、読み手をひきつけるような「始まり」を書く。		○		・1枚の写真から、オリジナルストーリーの設定や構成、表現の仕方を考えて書いている。	ワークシート 行動観察
	9	○表現を工夫してオリジナルストーリーの続きを書く。 ・心情が変化するような山場を考えてオリジナルストーリーを書く。		○		・想像したことが読み手に伝わるように会話文を効果的に取り入れたり、人物の気持ちや情景などを分かりやすく書いている	ワークシート 行動観察
	10	○下書きを推敲する。 ・構成や表現の工夫をさらに見直す。			○	・構成を見直したり擬人法や比喩、会話などの表現の工夫を取り入れたりしながら推敲している。	ワークシート 発言 行動観察
	11	○下書きを清書する。 ・オリジナルストーリーを清書し、仕上げる。			○	・想像したことが読み手に伝わるように清書している。	ワークシート
三	12	振り返り（２） ○作品を交流し合う。 ・感じ方や想像の仕方の違いや、オリジナルストーリーのおもしろさや構成・表現の工夫について感想を付箋に書いて交流する			○	・想像したことが読み手に興味を引くような構成の仕方や表現の工夫を考えながら作品を読んでいる。	ワークシート 発言
	13	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自らの学びを振り返る。	○			・オリジナルストーリーを書く活動を通して、自分のもの見方や考え方が広がっていることに気付いている。	発言 ノート

物語を読んで心に残った表現を集める

本時の学習

(1) 本時の目標

- 想像を広げて考えた事柄を整理して、起承転結の構成でオリジナルストーリーの構成を考えている。

(2) 本時の評価規準

- 想像を広げて考えた事柄を整理して、起承転結の構成でオリジナルストーリーの構成を考えプロット図にまとめることができる。

【書く能力】

(3) 本時の学習展開（4 時間目／全 10 時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて	◇前時に行ったイメージマップを基にして、オリジナルストーリーの構成を考えることを確認する。	
想像を広げて考えた事柄を整理して、オリジナルストーリーの構成を考えよう。		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>本時のゴールの見通し</p> <p>A：想像を広げて考えた事柄を整理しながら、登場人物の心情をふくらませて、読者の興味を引きつけるようなオリジナルストーリーの構成を考えている。</p> <p>B：想像を広げて考えた事柄を整理しながら、登場人物の心情をふくらませてオリジナルストーリーの構成を考えている。</p> </div>		
2 オリジナルストーリーに書く事柄を整理する。 ○どのようなテーマで書きますか。 ・友情・友達との絆 ・家族の絆 ・冒険・勇気 ○オリジナルストーリーの構成を考えましょう。 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> □思考の場の工夫 構造化 プロット図に付箋を貼りながら、オリジナルストーリーの「場面の設定、出来事の展開、山場、結末」の構成を考える。 </div>	◇前時に書いたイメージマップの内容を基に、書きたいストーリーのテーマを確認し、どんな話か、大体のあらすじを確認する。 ◇前時に書いたイメージマップの内容を基に、思考ツール「プロット図」に整理するように指示する。 ◆整理しにくい児童には、教師のイメージマップとプロット図を例に示しながら整理するように指示する。	☆オリジナルストーリーの構成を考えながら、想像を広げて考えた事柄を整理している。

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付きたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>3 全体で交流する。</p> <p>○オリジナルストーリーはどんな話ですか。一文あらすじを書いて交流しましょう。</p> <p>・一人ぼっちの男の子が、くすの木に出会って心を開き、友達ができる話。</p> <p>・魚が海の中を冒険して、敵と戦ったり優しさに触れたりしながら成長していく話。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇プロット図を使って、オリジナルストーリーのあらすじを「○○の～が、～と出会って、□□の～になる話。」の形で伝えるように指示する。</p> <p>◆書きにくい児童には、「～が、どうなる話」の形で大まかに捉えた筋を書くように指示する。</p>	<p>◎想像を広げて考えた事柄を整理して起承転結の構成でオリジナルストーリーの構成を考えている。〔書く活動〕(ワークシート・行動観察)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>選んだ写真……木の写真</p> <p>一文あらすじ…一人ぼっちの男の子がくすの木と出会って心を開き、友達ができる話</p>		
	<p>◇次時は、オリジナルストーリーを書き始めることを確認する。</p>	

(4) 板書計画

オリジナルストーリー全集をつくろう

「物語を書こう」

めあて

想像を広げて考えた事柄を整理して、オリジナルストーリーの構成を考えよう。

まとめ

選んだ写真……木の写真
一文あらずじ……一人ぼっちの男の子がくすの木と出会って心を開き、友達ができる話。

B 出来事・心情↓構成を考える。

A 出来事・心情を広げる↓構成を考える。

<参考>学びのモニタリング

学びのモニタリング

オリジナルストーリー全集をつくろう

「物語を書こう」

学びを振り返って

成長したこと

課題だと思ったり
次の目標

自己理解……自分の考えのよさや成長に気づく力

オリジナルストーリーを書く活動を通して、自分のものの見方や考え方が広がっていることに気付いた。

5

4

3

2

1

5

4

3

2

1

5

4

3

2

1

思考力……しつかり考える力

一枚の写真から、オリジナルストーリーの設定や構成、表現の仕方を考えた。
想像を広げて書く事柄を考え、整理して、起承転結の構成を考えたり、
想像したことが読み手に伝わるように会話を効果的に取り入れたり、人物の気持ちや情景などを分かりやすく
書いたりした。

主体性……進んで取り組む力

オリジナルストーリーを書くために、物語を読んで心に残っている優れた叙述を集めたり、一枚の写真を見て、
経験したことや想像したことを基に作品を書いたりした。

六年組 ()